

市長タウンミーティング概要（国分寺台文化センター）

令和6年2月17日（土）16:00～17:10

○意見交換

〔質問〕

震災時には市民同士の共助が不可欠であり、その際には自治会が中心となって行動しなくてはならない。しかし、自治会の加入率は年々低下しており、その対策としてSNSの活用によって若い層の加入を促したい。しかしながら、利用にも料金が必要となるため、海老名市からも手当を出してもらえないか。

〔回答〕

自治会なくして地域のコミュニティを保つことはできないと考えている。しかし、会員が少なくなり、自治会の維持管理は大きな負担となっている。建物の光熱水費や、赤い羽根の助け合い運動等への補助の見直しを行いたい。

〔質問〕

近年、国分寺台にも空き家が増え始め、震災等が起きた際に倒壊してしまうのではないかと心配している。他県の市町村では、高校生が空き家対策として、空き家を観光や福祉に活用する方策を考えていると聞いた。海老名市でも、空き家を市が買い上げ、訪問介護等の拠点として活用できないか。

〔回答〕

所有者の方に対しては、空き家を取り壊し、その土地を地域に貸し出してもらえないか相談するほか、自治会とも協力し、地域コミュニティが発展するような役割を担う土地にできるよう検討していきたい。

〔質問〕

自治会に入ることのメリットをよく聞かれる。イベントや災害時の共助等をお伝えはするものの、マイナス面に注目されがちである。海老名市からも、自治会に加入することのアピールをしていただけると、加入率が向上するほか、自治会の活動もより盛んになると思うので、検討していただきたい。

〔回答〕

加入率を上げるためには、加入促進条例のようなものを制定することも一つの手段ではないかと考えている。役員を務めることの負担感があるために加入を断念するといったこともあるので、役員になることへの抵抗感を減らせるよう検討していきたい。

〔質問〕

まちづくりの継続と発展として企業との連携を挙げられているが、市長が参考にされている市町村があれば教えていただきたい。

〔回答〕

岡山県の赤磐市では、強力な広域集客を期待できる企業誘致に前向きな姿勢であるという話を聞いたことがある。開発にあたっては、協定で企業が担うべき部分と市が担うべき部分をしっかりと取り決め、市が行うべき部分についてはしっかりと投資をしていきたい。

〔質問〕

綾西バザールの相鉄ローゼンが撤退して３年くらいになる。場所としては綾瀬市になるが、国分寺台の市民も多く利用していた。広域連携の重要性もあるため、海老名市からも補助ができるよう協力いただけないか。

〔回答〕

広域連携の重要性は理解している。連携をするにあたっては、それぞれの役割を決めることが不可欠である。綾瀬市から正式に依頼があれば、対応していきたい。